

「令和6年度最上農業賞表彰式並びに記念講演会」の開催について

最上地域で先導的に農業経営を実践する個人や団体の取組みを広く周知するため、表彰式を開催します。また、引き続き、最上地域のさらなる農業振興・担い手育成を図るため記念講演会を開催しますので、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日時 令和6年11月14日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場所 東北農林専門職大学（新庄市大字角沢 1366 電話 0233-22-1527）
- 3 内容
 - (1) 表彰式 午後1時30分から午後2時まで
 - 受賞者
 - 【技術及び経営改善部門】
株式会社藤ファーム（戸沢村）代表取締役 二戸部 康之 氏
水稻の省力栽培技術（ペースト二段施肥）の実証や、アスパラガスの施設栽培・高畝栽培導入による作期拡大と軽労化、そばの大規模作業受託など、地域農業の発展に大きく貢献している。
 - 【組織活動部門】
もがみ中央農業協同組合ドローンユーザーの会（広域）会長 阿部 欽也 氏
県内初のドローンを利用農業者の組織で、関連法規の研修会や、肥料・農薬の共同購入、最上地域での免許取得などの取組みにより地域のドローン普及拡大に大きく貢献している。
 - (2) 記念講演会 午後2時10分から午後3時30分まで
 - テーマ：気象災害から立ち上がる「セーフティネット」の活用
 - ・講演1 「収入保険を活用した再建」
山形県農業共済組合収入保険部 収入保険課長 長尾 直樹 氏
 - ・講演2 「災害時に活用できる制度資金等」
日本政策金融公庫山形支店農林水産事業 融資第一課 横田 拓也 氏
- 4 出席者 認定農業者、担い手農業者・農業法人、東北農林専門職大学及び附属農林大学校学生・研修生、市町村、農業委員会、農業協同組合 等
- 5 主催 最上地域農業・畜産振興協議会、最上総合支庁

○最上農業賞とは

平成元年から始まった最上地域農業・畜産振興協議会（会長：新庄市長）の表彰事業で、これまで73の個人、団体を表彰している。

最上農業賞受賞者の中から、山形県ベストアグリ賞の候補者が推薦されることが多く、現在まで、同賞最高賞である農林水産大臣賞を9回、東北農政局長賞を6回受賞している。



担当

産業経済部農業技術普及課
課長補佐（経営企画担当）仲川
電話 0233-29-1322